

着々と進む国際ハイウェイ構想

日韓トンネルで交流しよう！

日本に一番近い外国といえば韓国。距離でいうとそう何万キロも離れていないのに、韓国との間に海があるものだから感覚としてはずいぶん遠いところにあるように思える。

事実、九州の福岡から飛行機に乗れば、わずか一時間あまり。東京から北海道に行くのとそうそう変わりはない。以外と近い外国というわけだ。

もし日本と韓国に海がなければ、ヨーロッパのように国から国へとクルマで移動できることになる。そんな大陸的条件だったならば、日本の文化もずいぶん違っていたんじゃないだろうか。

これまで閉鎖的ともいえた日本に、ヨーロッパのようにクルマで行ききできる交流を、とばかりに、いま21世紀に向けて新たな事業が進められている。それは日本と隣の国、韓国を結ぶ海底トンネル計画。

これは国際ハイウェイ構想の第1段階として進められているもので、今のところ基礎的な調査をしている段階だ。この計画

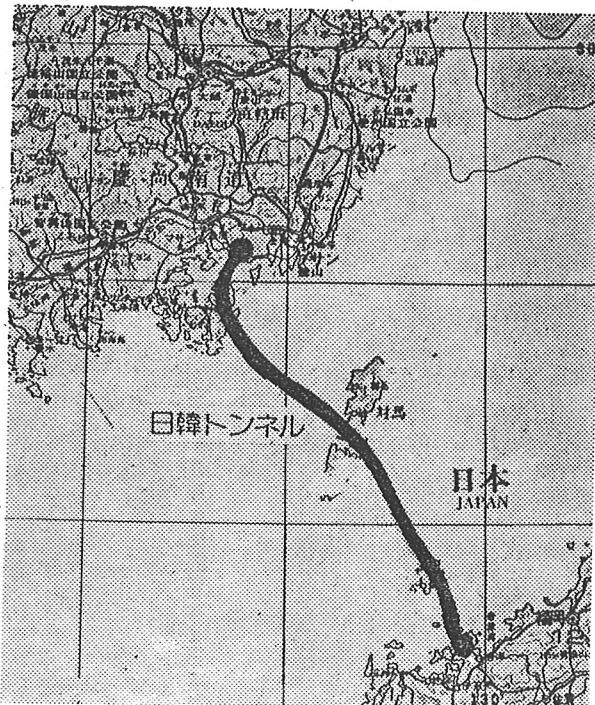
が順調に進み海底トンネルが完成したとすると、その全長は青函トンネルの約4倍にあたる235km、総工費は約6兆5000億円というものになる。

日本側の入口は唐津、韓国側の入口は釜山だ。

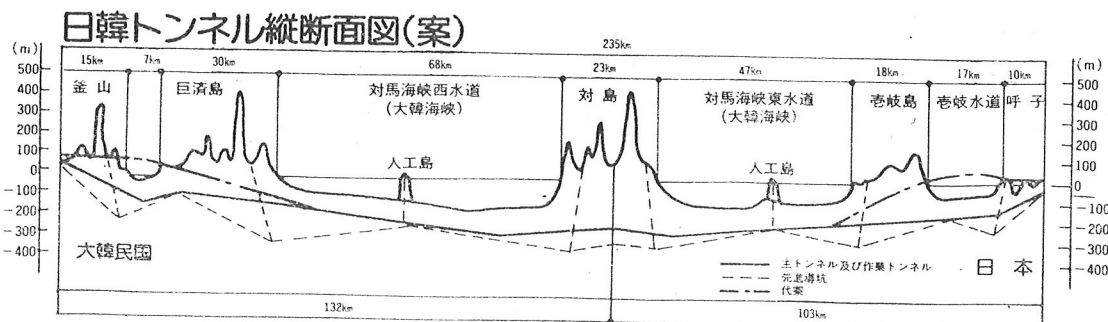
国際ハイウェイ構想というのは、1981年、韓国はソウルで開かれた「第10回科学の統一に関する国際会議」の席上、同会議の提唱者であり、国際文化財団の創設者でもある文鮮明氏によって提唱されたもので、世界各国をハイウェイで結び、高速輸送のネットワークで全世界を一日生活圏にしようという計画だ。今回の日韓海底トンネルの計画もこの構想の下に進んでいる。

海底トンネルで日本と韓国が結ばれたとすると、気になるのは出入国の方法、ビザの発行ウンスンであるが、この構想ではハイウェイの両側1キロは国境を超越した中立地帯とし、そこを利用する人のための空港やホテルなどの施設を作るものとしている。ビザに関しては現行ど

日韓トンネルはほぼこのルートになる



日韓トンネルを断面で見ると



カルタスエー10馬力POWERED 123ページの他に新車情報は100ページから